

いまからでも遅くない 頑張っ三上先生のような人になりたい

船津町公民館の入口横に、三上参次さんの顕彰碑が建っています。正面に「三上参次顕彰碑」と書かれ、その裏面に次のような文言が刻まれています。

いまからでも遅くない、頑張っ三上先生のような人になりたい

地域学習で三上参次先生のことを学んだ6年生が、在校生に話したときの結びの言葉です。

この言葉に背中を押され、私たちは三上参次先生の顕彰碑建立を決意しました。

没後80年、船津小学校の子ども達が三上先生の人となり共感し、郷土愛・人間愛にあふれた住みよい町、船津づくりの担い手になってくれることを心から願って。
令和元年11月吉日

顕彰碑建立に至った経緯はこの通りですが、この時、6年生が在校生に話をしたシーンは私にとって忘れ難いものとなりました。

話し終わると、在校生の一人が突然立ち上がり「この6年生はもうすぐ卒業するんや。みんなで、頑張れコールで中学校に送ろう」

全員が立ち上がりました。「6年生がんばれ」「6年生がんばれ」「6年生がんばれ」の声で講堂中に響き渡りました。胸を突き上げ、送る在校生。感謝の頭を垂れ、送られる6年生。誰が仕掛けたものでもない、激励コール。感動的でした。

この時の6年生の結びの言葉が「いまからでも遅くない、頑張っ三上先生のような人になりたい」でした。

『三上参次先生の生きざまはこれだけ力があるのか!』
小学生の言葉が船津のいろんな団体、住んでおられる皆様様の心の魂を揺さぶり、建立に結び付いた。この校区の誇りです。

撮影風景

過去レシピをユーチューブにアップ!

食と交流グループには過去に作成したレシピが沢山あり、それを公開し多くの方に知って頂きたいと思い、動画にしてユーチューブにアップする事にしました。

電磁調理器を使用し、手元が明るいうようにライトをつけて、扇風機でレンズが曇らないように湯気を飛ばしました。また、調理の様子と手順や材料がよくわかるよう真上から撮影するため、ワイヤーネットのマス目の間にレンズが来るようにして撮影しました。



【 ネットの穴にカメラのレンズを固定するのが難しかったですが、現場の五徳がジャストフィットしてうまく固定出来ました。 】

レシピ動画撮影のポイント

- ・気軽に閲覧できるように2分まで
- ・軽快な音楽を流し最後まで楽しく
- ・分量等を動画と説明でわかりやすく
- ・手元が見えるように真上から撮影

現在アップしている動画

- ◆福崎町のもち麦の白玉団子 ◆姫路生姜醤油おでん餃子
 - ◆夢蕎麦のお稲荷さん ◆播磨の国の柚子バターおにぎり
 - ◆瀬戸内のしらすと市川町卵のペタン焼き
- 穴子と生姜の炊き込みご飯・蓮根とひね鶏の炊き込みご飯も近日公開予定です。

ユーチューブ応援してね。
QRコードでアクセス!
いいねとチャンネル登録



みんなでビジョンの実現状況を確認よう 中播磨地域力指標

～フォローアップ指標～



地域ビジョンの4つの“夢”に沿った34項目で、ビジョンの進捗状況をチェックします。住民のみなさんに地域課題や生活の実感等を尋ねる「兵庫の豊かさ指標」県民意識調査の結果などを活用。実感(主観)を重視した指標です。

今回の結果では、多くの項目で中播磨地域ビジョン改訂前のH22年度を上回っています。中播磨地域の特徴は、昨年度から下降した項目もありますが、元気交流中播磨の★マーク4項目が、県下で1番です。

ビジョンを実現する
地域の力を測る「ものさし」です。
みんなで一緒に点検・評価していきましょう。



4つの“夢”	県民意識調査等指標群(主な項目)	R1	H22年度との比較
希望が育つ中播磨 ～子供が元気に育つ、 つながりのある地域～	住んでいる地域は子育てがしやすいと思う人の割合	48.8%	↑
	住んでいる地域の子どもは伸び伸びと育っていると思う人の割合	68.1%	↑
	住んでいる地域で、異なる世代の人とつきあいがいる人の割合	51.6%	↑
	ボランティアなどで社会のために活動している、またはしてみたいという人の割合	31.8%	↑
安全安心中播磨 ～みんなが安心して 暮らせる地域～	災害時や困った時など、いざというときに声をかけ合える近隣の人がいるという人の割合	77.8%	↑
	住んでいる地域は高齢者にも暮らしやすいと思う人の割合	47.7%	↑
	健康づくりに取り組むやすい環境が整っている地域だと思う人の割合	44.6%	↓
自然豊かな中播磨 ～自然環境の営みを 大切にできる地域～	住んでいる地域で災害に備えた話し合いや訓練に参加している人の割合	25.6%	↓
	ごみの分別やリサイクルに取り組んでいる人の割合	89.7%	↓
	製品を購入する際に、環境に配慮したものを選んでいる人の割合	54.4%	↓
元気交流中播磨 ～にぎわいと交流の 元気な地域～	住んでいる市・町の自然環境は守られていると思う人の割合	37.4%	↓
	山林や川、海などの自然環境を守るための取り組みに参加している、またはしたいと思う人の割合	30.7%	↓
	★住んでいる市・町に、観光などの訪問客が増えていると思う人の割合	67.8%	↑
	★住んでいる市・町には、自慢したい地域の「宝」(風景や産物、文化など)があるとと思う人の割合	72.2%	↑
	★住んでいる市・町の駅前や商店街に、活気が感じられると思う人の割合	26.6%	↑
	★商売、事業を新たに始めやすいと思う人の割合	9.2%	↓

2020年度上半期 中播磨イベント情報

イベント名	開催場所	開催日	問い合わせ先(電話番号)
姫路城観桜会	姫路城三の丸広場	4月4日	姫路城イベント実行委員会事務局 079-240-6023
第14回民俗広場まつり	福崎町辻川観光交流センター(神崎郡福崎町西田原1470-1)	4月4日	福崎町地域振興課 0790-22-0560
桜まつり	かみかわ桜の山 桜華園	4月11～12日	桜華園管理組合 0790-32-2299 (開園中のみ)
第4回市川町ゴルフまつり 喜菜★喜菜GOLFフェス	市川ゴルフ(市川町西田中589)	4月18日	市川町ゴルフまつり実行委員会事務局 0790-26-1015
書写山新緑まつり	書写山園教寺	5月3日～5日	書写山園教寺 079-266-3327
姫路城新能	姫路城三の丸広場	5月22日	姫路新能奉賛会 079-281-6800
水車まつり	JR新野駅西側広場	5月24日	神河町観光協会 0790-34-1001
ほたる祭り	モンテローザわくわく公園・こっとう亭	6月中旬	神河町観光協会 0790-34-1001
かふとむしど～もオープン	リフレッシュパーク市川	7月中旬～8月中旬	リフレッシュパーク市川 0790-27-0313
かみかわ夏祭り	神崎小学校	8月初旬	かみかわ夏祭り運営委員会 0790-34-0971

情報誌に対するご意見
ご感想などの連絡先

中播磨地域ビジョン委員会事務局
〒670-0947 姫路市北条1-98

兵庫県中播磨県民センター県民交流室県民課(ビジョン担当)
電話(079)281-9600 FAX(079)281-3015
メール:nkharikem@pref.hyogo.lg.jp

中播磨地域ビジョン情報誌

Hari Maga Vol.22

発行:中播磨地域ビジョン委員会



Contents

- 令和元年度地域夢会議を開催 ……P2
- 各部会・グループ特集ページ ……P2～5
～2年間の活動で一番力を入れてきたこと～
について紹介します
- 中播磨地域力指標 ……P6
- 中播磨イベント情報 ……P6

《令和元年度》 夢会議が盛大に 開催されました

●講演は菅野稔博(姫路ふるさと大使)さんによる
「歩くほどに分かる故郷の魅力!〜『播磨国風土記』の謎と中播磨の遺したい景観〜」。夢会議のテーマ【タモリも歩いた中播磨! 歩きたいまちとは?】にピッタリな内容で、地域活動に取り組んでいるビジョン委員はもちろん、参加された多くの高校生も真剣に耳を傾けていました。見野古墳群(10号墳)は遺したい景観そのものですね!



●ワークショップと意見交換会では
中播磨の魅力ある景観や『歩きたいまち』について議論が繰り広げられました。地域の魅力やその発信方法について高校生が斬新的な意見を発表してくれました!

●総括として金沢副知事は
「2050年を展望する新ビジョンについて考えている現在、これからの未来を担う高校生が参加したことは非常に大きな意味がある。兵庫がどのようなことを念頭に置きながら、それをどういった姿勢で乗り越えていくのかという感覚をみんなで共有しようとする必要がある。その新ビジョンづくりに多様な人に関わっていただきたい。」と述べられました。



希望が育つ中播磨部会



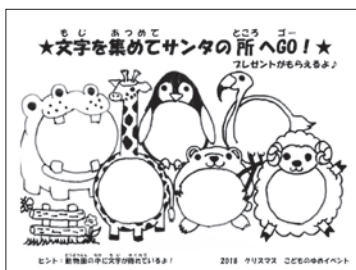
クリスマスソングの歌詞カードを作成し、来園者に配布して一緒に歌を歌いました。2019年度は、委員のギターの演奏と歌で、盛り上がりました。

姫路市立動物園での「クリスマス子どものゆめイベント」に力を入れて実施しました。イベント内容は、クリスマスコンサート、絵本の読み聞かせ、エサやり体験、文字集め(2018年度)、チビッコなぞとき(2019年度)です。「クリスマスコンサート」は、委員の一人とそのバンドの皆さんが演奏。クリスマスソングの歌詞カードを作成し、来園者に配布して一緒に歌を歌いました。2019年度は、委員のギターの演奏と歌で、盛り上がりました。

「絵本の読み聞かせ」は、ブルーシートに座り、皆さんくつろぎながら楽しんでいました。2019年度は、大人も一緒に楽しんでたのがとても印象的でした。
動物エサやり体験は、動物園の職員にご協力をいただきました。エサやり体験をしたい子どもたちが集まり、サンタさんとじゃんけんをして、勝った子ども(象とキリン各5人)が体験をしました。
簡単なゲームをして、答えが出たらサンタさんからプレゼントがもらえるイベント!2018年度は文字集めゲームをしました。園内を回り、6個所に掲示してある文字を集めました。2019年度はチビッコなぞときで、園内に掲示してある問題を3問解き、言葉にしました。サンタさんからのプレゼントは、文具セットにサンタの折り紙など、子どもが喜びそうなものになりました。動物園との打ち合わせやプレゼントの梱包作業など、私達ビジョン委員にとっても、楽しい思い出となりました。



2018年度文字集めゲーム



2019年度チビッコなぞとき



プレゼントの梱包作業の様子



安全安心中播磨部会

体力測定会

- 《2018年度の参加者数》
- 市川町……………25名
- 福崎町……………30名
- 姫路市御国野…10名
- 《2019年度の参加者数》
- 姫路市手柄…43名
- 姫路市船津…25名

目的:①自身の体力を把握し、健康づくりに取り組むきっかけとする。
②体力測定の結果から、健康で過ごすために日々取り組む運動についてのアドバイスを得る。



医療・福祉グループ

わたしたちのグループは、ご高齢の方が健康やかに自分の人生を楽しむ、「健康寿命の延伸」となる取り組みや仕組みを検討し、各地域における「地域包括ケアの推進」と「地域共生社会の確立」を目指したいと思い活動してきました。

測定結果の平均値	平均年齢	握力	上体起こし	長座体前屈	開眼片足立ち	10m障害物歩行	6分間歩行
市川町	67	23.3	9	38	120	8	595
福崎町	67	25.1	11	34.75	120	7.65	520
姫路市御国野	75	27.1	10	39.5	61	8.75	510
姫路市手柄	76.5	25.7	13.5	31	40	7.45	-
姫路市船津	71	37.4	10	35	93	7.6	530

安全安心中播磨部会

御国野校区老人クラブで実施した「防災運動会」

防災と聞くと、難しく堅苦しいイメージが先行してなかなか訓練に参加されない方が多いが、楽しく防災に関心を持ってもらえるよう企画。運動会の障害物レースの中に防災に関するものを取り入れた。
冷静さ、チームワーク、防災の知識が必要で、体を動かすタイムを競うと皆様、白熱した様子。防災グループのメンバーが手作りの倒壊家屋の出来栄の良さに臨場感満載。
火元と想定した的に投てきバックを命中させる競技は、当たった場所によって点数に差をつけて総合タイムから差し引くというもので、参加者

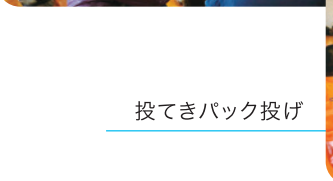
も真剣な表情に。Tシャツを使用した簡易担架作成では、チームワーク力が発揮されたり、女性ならではの機転を利かせたりして、好タイム続出。
防災グッズ選びは防災知識も必要となり、参加者同士の会話の中から備えの必要性を再確認することに繋がった。2月に実施したが、運動も兼ねているので、体も温まり参加者もビジョン委員も笑顔あふれていた。
「楽しみながら防災を学べてとても良かった。」という参加者の声もあり、地域貢献をしたいというビジョン委員の熱い思いにつながる活動となった。



説明の様子



備蓄準備(防災グッズ選び)



投てきバック投げ

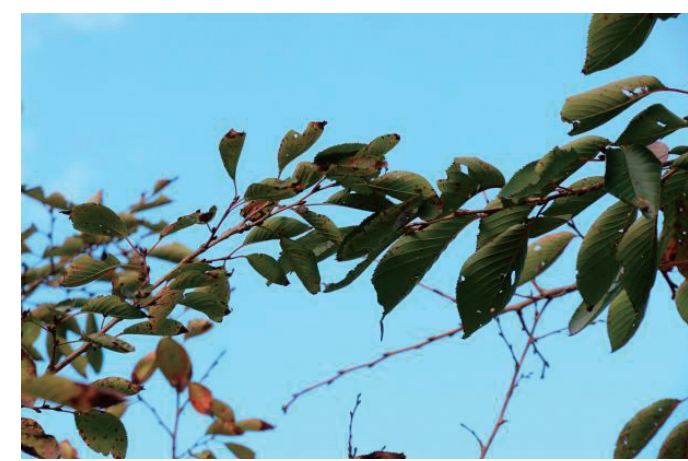


簡易担架作成



自然豊かな中播磨部会

国土の約7割を森林に覆われた森林王国の日本では、古くから山の恵みを受けて暮らしてきました。森林は、生物多様性の保全、土砂災害の防止、水源のかん養、保健休養の場など、私たちが安全で快適な生活をおくるために欠かせない多くの「環境保全機能」を果たしています。しかし近年、何も手入れをされず放置された森林が多くあることが、環境保全問題のひとつとなっています。
私たちは、この問題を解決するために桜を通して里山に接することで日本の森林がかかえている様々な問題点に気づき、針葉樹と広葉樹のバランスのとれた保水力のある本来の自然林の姿に少しでも戻して、近年全国規模で多発している豪雨災害に耐えることが出来る播磨の山里を目指します。
日本の桜の約80パーセントがソメイヨシノと言われています。しかし街を歩いていると手入れ不足の可哀想な桜を目にします。
私たちは、この度、NPO法人兵庫県樹木医会とご縁を戴き、所属の樹木医の先生方を講師に招いて「桜の育成・管理の講習会」を開催してその技術を習得しました。特に河合浩彦理事長の桜の育成に関しては、青森県弘前公園でソメイヨシノの古木再生法を独自で学ばれ、王子動物園の桜を再生する為の「主幹新旧切り替え剪定」や「深植え対策」を考案・実施されました。その成果を「神戸王子公園方式」と称してご指導していただきました。「美しい桜が咲き誇る播磨の山里」を目指していきたいと思えます。



樹木医会が明石公園で実施した「主幹新旧切り替え剪定」と「深植え対策」の処理前の桜の樹(左側)と処理後の桜の樹(右側)の葉の色と大きさの違い



元気交流中播磨部会

日本遺産「播但貫く、銀の馬車道鉱石の道」の文字通り、沿線各地の行事に、銀の馬車道活性化グループとして参加し、地域連携交流の重要性を発信してきた。その中で、南の拠点飾磨の情報発信の弱さに危機感を持ち、設立早々の「銀の馬車道」飾磨街道活性化委員会主催の「2018飾磨街道フェス」を後押しし、ようやく飾磨が動き出した。
昨年春に、日本遺産「北前船寄港地」でも「追加認定か!」の時、飾磨駅にまち歩きマップ一つ無いことに焦り、マップ作りのために町を歩いたが、石碑ばかりでピンと来ない。ある時ふと、古地図の海岸線をフィルタとして今の地図に当てると、散らばった石碑が語りだした。その話と助成金情報を活性化委員会に持込み、「飾磨まち歩きマップ(歴史フィルタ付)」は完成した。

銀の馬車道活性化グループ

数日後、日本遺産「北前船寄港地」に姫路市が追加認定され、すぐに他の部会にも声をかけ、マップを片手に飾磨まち歩きを実施した。参加者には改めて、飾磨の歴史・文化の魅力と深みを伝えられ、特に姫路藩御船役所の話は、新情報として喜ばれた。昨年末の「飾磨街道フェス」では、飾磨小学校から多くの参加があった。
最後に、馬車で賑わう飾磨の写真は、馬車と和船が、日本遺産の町飾磨を彷彿とさせる。飾磨の詩人本芳水の詩が写真に色彩を浮かび上げられるのだ。「さあ、マップ片手に飾磨を歩こう!」



馬車で賑わう飾磨

